

行き先失う高級茶葉

お茶（リーフ）



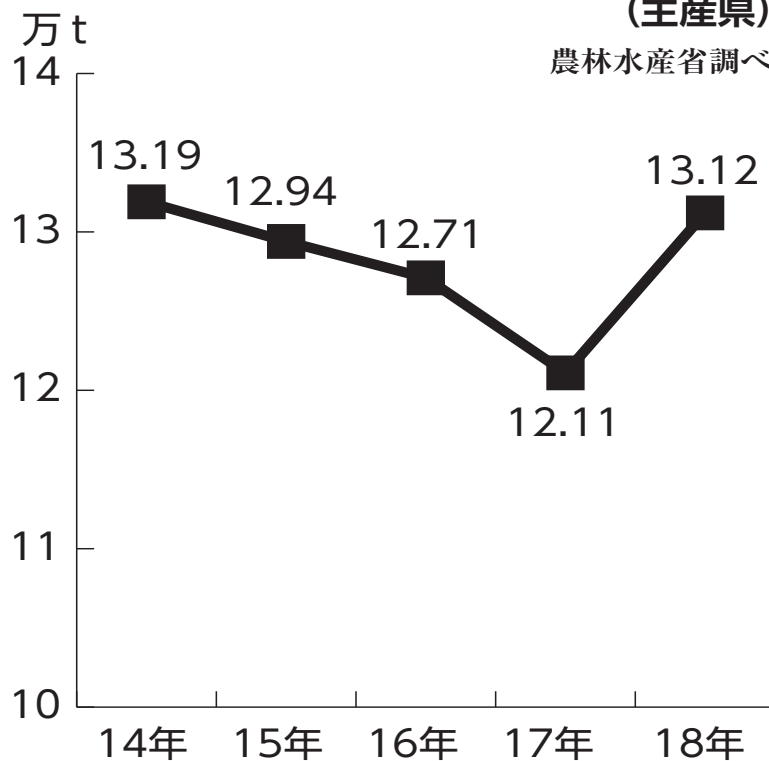
あ め

16年、17年と茶価が連続して上昇し、もう茶価は下がることはいらないだろうと潮目の変化を意識する茶商が増えていたが、18年の市況は再び下落に転じた。PET原料となる3〜4番茶中心の下もの需要は高いが、専門店や百貨店チャネルの不振から一番茶・高級茶の行き先がないと多くの関係者は指摘する。これまで、お茶の需要を支えていた年配者に代わるお茶好きがいなことが致命的。茶葉だけを育てても行き先

一番茶の生葉収穫量推移

(主産県)

農林水産省調べ



がなければ厳しさは増すばかりだ。同時に、お茶好きを育てていくことが茶業界にとって最重要課題になっている。